

令和2年度

事務事業評価表(令和元年度の実績評価)

記入年月日  
令和2年4月16日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '国指定史跡真壁城跡保存整備事業' and '文化財の保存活用'.

Section (1) 事務事業の概要. Includes ①事務事業の概要 (事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Details the archaeological site preservation project.

Section (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移. Includes ①手段, ②対象, and ③意図 with associated activity and result indicators.

Section (3) 投入量(事業費)の推移. Table showing financial inputs (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel (正規職員従事人数) for 30, 01, and 02 fiscal years.

Table comparing 01年度事業費実績 (千円) and 02年度事業費予算 (千円) across various expense categories like 報酬, 共済費, 賃金, etc.

事務事業名	国指定史跡真壁城跡保存整備事業	事務事業No.	20501000896	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成6年に国指定になり、保護・活用を図るため、平成9年度から国庫補助、県費補助を受けて開始。発掘が進み、調査効率は向上したが、庭園規模が想定より広大で調査に時間と費用がかかっている。啓発業務は、長年の蓄積により普及が進み、市内参加者が増加傾向にある。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 歴史公園として早期の公開・活用を望む。真壁伝承館歴史資料館をはじめ、城下町、古道など周辺の歴史資源と連携した歴史講座や活用事業を増やして欲しいとの要望がある。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 真壁城跡の保護と活用に繋がり、桜川市の魅力を高める。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 国指定の市有財産であり、歴史景観をわかりやすく復元して価値を高め、茨城県を代表する城郭遺跡として、最大限活用する必要がある。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 発掘調査区の設定や工事の手法を多様な視点から検討し、効率化と効果向上がはかれるように活用している。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 公開・活用ができなくなり城跡の価値が生かせなくなる
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業は無い
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最小限で行っている
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市の財産である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)														
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	平成27年度策定の整備基本設計をもとに発掘調査と整備工事を進めた。発掘調査は庭園の範囲が大きく、全体像の解明は完了していないが、庭園西部の園路等の調査ができた。整備工事は令和元年度までに南西ゾーンの土壁・堀などの復元工事を完了した。														
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)														
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
成果	向上	削減	維持		増加											
	維持		○													
	低下															
課題： 史跡真壁城跡の庭園範囲が想定よりも拡大しており、全体像の解明に時間がかかっている。また真壁城跡以外の埋蔵文化財試掘・発掘業務が急増しており(高森、山尾北田、民間開発)、史跡担当者2名は複数の現場をかねもちで担ったため、真壁城と他埋蔵文化財業務の進捗がはかどらない事態となっている。上記状況から、史跡真壁城跡保存整備基本設計(H27)は工程・内容の大幅な見直しが必要となっている。		(6) 事務事業優先度評価結果														
解決策： 業務に集中処理できる体制整備が急務。 <small>事務事業優先度評価結果(発掘業務、掘削、管理)と他埋蔵文化財担当(試掘、発掘)を異にする必要がある</small>		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ①														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>